

(1)事業の概要等

令和7年度 詳細評価シート

事業番号	B1102-2		事務事業名	私立高等学校等授業料助成事業			事業期間	平成3年度	～	令和7年度								
実施計画事業																		
評価対象年度	令和 6 年度	担当部	教育委員会事務局			担当課・担当係	学校教育課 学校教育係											
事業の概要・展開	小牧市まちづくり推進計画 (R5年～R8年)	分野別計画編	基本施策	11	展開方向	2	事業区分	その他(評価対象)	款	10	項	1	目	3	大	9	中	2
	事業の目的・効果	私立高等学校等の授業料負担に対する助成を実施することにより、保護者の経済的負担を軽減する。						事業概要		市内在住で私立高等学校等に通う生徒の保護者に対し、授業料の一部を補助する。								
	事業の経緯・年度計画	【年間補助上限金額】 ※所得区分に応じて、補助額を交付。令和元年度より区分それぞれの上限額を20,000円増額。(上限30,000円～40,000円) ※令和2年度より上限一律80,000円 ※国・県の私学助成制度に上乗せする補助 事務には進学先高等学校等へ案内送付、保護者からの申請受付、高等学校等への在籍・授業料確認、国・県補助金の受領金額の確認、助成金額決定処理などがあり、高等学校等の協力を得ることも必須である。																

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3	R4	R5	R6	R7
			直接経費	決算額	千円	18,829	18,107
	財源						
	一般財源						
	国・県支出金						
	その他						
	計(A)		18,829	18,107	17,304	15,299	
	対前年比	%	—	96.17%	95.57%	88.41%	
	予算額	千円	19,900	19,900	19,900	19,900	19,900
人件費	正規職員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	
	会計年度任用職員	人					
	人件費(B)	千円	1,505	1,505	1,505	1,505	
	事業費合計(C=A+B)	千円	20,334	19,612	18,809	16,804	

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			成果指標	—	—	—	—
活動指標	補助金受給者数	人	目標	—	—	—	—
			実績	424	413	418	363

(4)事業の評価

事業の方向性	維持(改善)	事務事業評価による額	16,900	千円
事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	「こども夢・チャレンジNO.1都市」として県内でも高額な助成を行っているこの事業は、広報・HPでの周知のみでなく、卒業生進学先私立高校等へ案内書を送付することでPRを毎年行った。国公立・私立高校間の保護者負担の格差軽減に貢献できた。令和4年度には、申請フォーム入力で申請受付を開始し、申請者の利便性が高まり申請数が増加したが、補助金受給者数は私立高等学校等へ就学している対象者や保護者の所得状況により増減した。	今後の実施内容	国や県の補助金制度に上乗せする形での補助であるため、制度の見直しに注視が必要である。現在、国予算案として令和8年度からは世帯収入に関係なく、授業料を私立全日制45.7万円、私立通信制33.7万円まで支給する制度が計上されている。	
E(廃止)業務自体を無くせるか	Yes	改善取組内容	国の高校無償化の拡充に伴い、市の上乗せ補助の対象者は減少があるものの、年収の少ない世帯については、改正後の国県の補助額が、改正前の国県+市の補助額を上回らないため、市の上乗せ補助は廃止できない。改正後の国県の補助額が、改正前の国県+市の補助額を上回らない年収の少ない世帯についてのみ、補助を継続する。	
C(結合)作業をまとめられるか			⇒私立全日制 最大68,200円(～年収約720万円)補助とする。	
R(入替・代替)手順や担当を変えられるか			⇒私立通信制 最大40,000円(～年収約590万円)補助とする。	
S(単純化)もっと簡単にできるか			3,000千円(当初予算案△14,000千円、令和7年度予算△16,900千円)	